

単
元
名

データの特ちょうを調べて判断しよう

教科書出版社名 (東京書籍)

- 小学校 (6) 年 教科等 (算数・わくわく問題)
- 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等で付けたい力)

・統計的な問題解決の方法を理解し、結論の妥当性について考察することができるようになる。

(学校図書館等の活用で付けたい力)

・図や表、グラフ、短い文章の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。

・必要な情報を選択し自分の考えを深め結論を出し、スライドによるプレゼンテーションで表現する力。

- この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

●情報収集…飲料に使われる容器の材質について、図書資料、タブレット端末を適切に活用し必要な情報・データを集める。

●整理・分析…集めた情報・データから目的に応じたものを選択し、読み取り、分析する。

●まとめ・表現・発信…分析した結果をもとに考察・結論をスライドにまとめ、発表し合う。

- 学習の展開 (全 1 1 時間)

第 1 次 7 時間	データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について考える。 ・代表値としての平均値について理解する。 ・データをドットプロットに表して、散らばりの様子や最頻値について知る。 ・度数分布表について知る。 ・ヒストグラムについて知り、散らばりの様子を見るのに便利であることを知る。 ・代表値と中央値について知り、データの特徴を調べることができる。 ・データの特徴や傾向に着目し問題に対する結論を考え、代表値などを用いて判断することができる。 ・データのよいところを見つけて、理由を明確にして賞を作る。
第 2 次 (本時) 3 時間 ☆	飲料を入れる容器の材質について調べ、比較・分析し、どちらがいいか結論づける。(わくわく問題 6 年関連) ・比較する飲料容器の材質 2 種類を決め、どの材質がいいか結論をだすためにどのようなデータや資料が必要か検討する。 ・本やタブレット端末を使って、容器に使われる材質やデータを集める。 ・集めたデータ・情報を整理分析し、考察・結論を出し、スライドにまとめる。
第 3 次 1 時間	飲料容器の材質に何がいいか、データや資料を活用して伝え合おう。 ・作成したスライドにまとめたことを発表し合い、意見交流をする。

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい
飲料を入れる材質を比較する上で、自分たちが必要だと検討した目的に応じた情報・データを収集する。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
5分	<p>1. 前時に自分たちが必要だと考えたデータ・資料の種類を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>選択した2つの材質について、必要な資料・データを集めよう。</p> </div>	<p>・重さ、費用、再利用可能か等、どの観点の資料を集めようとしているか再確認する。</p>
35分	<p>2. 選んだ2つの材質について、本やタブレット端末を利用して、目的に合った情報を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・値段、重さ、リサイクル率、熱伝導率、耐荷重など、2つの材質を比較する観点を選択し調べる。 ・はじめは図書資料で調べ、必要な情報がなかった場合、タブレット端末を使用して情報を集める。 ・観点にそってデータをそろえ、比較した結果と考察をワークシートにまとめる。 	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>○様々な資料から、自分が必要な情報を見つけ選択できるようにする。</p> <p>○情報が正確でわかりやすくまとめている図書資料を活用することのよさを理解し、最初は本を活用し、足りない部分をタブレット端末で補うよう声かけをする。</p> <p>○参考にした文献の題名、著者、発行日を記録しておくよう、声をかける。</p> </div>
5分	<p>3. 活動の振り返りをして、次時の活動を伝える。</p>	

図書館活用ポイント

